

御指導をいただく先生方



筑波大学附属小学校
二瓶 弘行先生

誰もが知る国語指導者。先生は「文学作品の国語教育の醍醐味は仲間との『読みの交流』にこそある」とおっしゃっています。本校の「対話力」について、どんな御助言をいただけるか、期待しています。

新潟県出身。新潟県公立小学校教諭を経て現職。
東京書籍国語教科書編集委員。
著書に『子どもが創り、子どもが学ぶ－国語科の総合的学習』
『新しい発展学習の展開国語科小学校5～6年』
『はじめてのこくごシリーズ』等多数。
DVD「文学作品の『語り』の監修指導も手がける。



植草学園大学教授
野口 芳宏先生

多くの現職教員から指示を受けている国語授業のカリスマ的存在。先生は「教育の基本は鍛えること」と言われます。我々教師へは「根本を学べ」と訴えられています。今回の模擬授業で、その一端を御指導いただけることを期待しています。

千葉県出身。
千葉県公立小教諭・附属小教官・北海道教育大学教授を経て現職。
日本教育技術学会(理事・名誉会長)
日本言語技術教育学会(理事・副会長)
『野口芳宏著作集「鍛える国語教室」』(全23巻)
『鍛える国語教室』シリーズ1～15等著書多数。その他DVDも多数。

iPad学習 本校職員 3年担任 小旗 浩徳

2011年の2月、『総務省 絆プロジェクト』の一環として、4, 5, 6年生全員に90台のiPadを導入していただきました。教科指導の中に、iPadを学習ツールとして効果的に活用する場面を見ていただきたいと思います。

これからの教育に、タブレットPCは欠かせない存在となっていきます。皆さんと一緒に、ICT利活用についていろいろと意見交換できたらと願っています。

本校職員 4年担任 野田和美 ～公開授業～ 本校職員 6年担任 山崎直彦

きせつの言葉「夏さかん」の俳句づくりの授業をします。夏の風景を言葉に表し、それを俳句にし、それにこめた自分の思いを友だちと交流します。ここでは、短い言葉にこめられた気持ちを解釈することを読解力ととらえて授業を展開します。視点を持って、友だちの俳句の良さを見つけ、iPadでお気に入りの俳句を投票し、交流に繋がっていきます。

生活の中で楽しい気持ちになるときや、ほっとするときのことを思い出し、それを短歌にする学習を行います。自分の日常生活の「たのしみ」をテーマに作った短歌を、短歌の形式に則って言葉を吟味したり、友だちと作品を交流したりします。交流の際には、より場面や様子が伝わるようにiPadを使って、「たのしみ」の場面に合った写真も提示します。

講義 二瓶 弘行先生

俳句や短歌の指導

昨年度は、金子みすゞの詩「犬」を教材に、授業づくりのヒントを教えていただきました。詩の内容に共感するだけでなく、詩の表現に目を向けさせ、次の詩を読むときに活用できる力をつけさせることの大切さに気付かせていただきました。

今年は、俳句や短歌の指導において、子どもたちにどんな力をどのようにつけるべきなのかをご教示いただきます。大変楽しみです。

模擬授業&講義 野口 芳宏先生

読解の指導

昨年度は、物語文「大造じいさんとガン」を、参観者を見童役に見立てて模擬授業をしていただきました。野口先生は、「いい発問ができないということは、指導事項が分かっていないということ。」と、教科内容を教えることでどんな教材も読めるようにすることの大切さをご教示いただきました。

今年は、物語文「ちいちゃんのかげおくり」を教材に模擬授業をしていただきます。どんな授業になるか楽しみです。